

浜須賀まちのちからニュース

令和3年12月1日発行

浜須賀地区まちのちから協議会
編集会

発行責任者 朝倉哲男
茅ヶ崎市松が丘2丁目8番63号
TEL 0467 (87) 1101
印刷 仲手川印刷



浜須賀地区まちのちから協議会

検索

浜須賀まちのちから

あついで夏



浜須賀中学校
校長
一星 光利



浜須賀中学校
教頭
荒川 融

4月1日付けで鶴嶺中学校より転任して参りました、一星光利(いちほし みつとし)です。かつて9年間お世話になった浜須賀中学校に再び勤務できることをたいへん光栄

に思っております。

4月以来、入学式、体育祭、1学年自然体験学習と無事に各行事を実施することができました。さらに、今年度は夏の大会、茅ヶ崎地区中学校体育連盟総合体育大会も実施することができました。昨年は、私の名前で茅ヶ崎地区のすべての保護者の方に中止の通知を出したことは辛い思い出です。コロナ禍で制限ばかりではありますが、浜須賀中学校のアスリートたちは精一杯の活躍をしました。湘南・県大会出場者は数知れず、関東大会に個人で8人と1チーム、全校大会に個人で3人が出場しました。全国に出場した3人は決勝のレースを闘った全国入賞者です。そして、

委員会活動で「つながり」を創る



浜須賀小学校
教頭
高橋 みずほ



浜須賀小学校
校長
松永 忠弘

コロナ禍で中断していた、6年生の委員会活動を10月5日に再開しました。そこでは、自分たちの学校生活をより良くするための活動について、様々な提案がなされました。運営委員会は、全校のみならず、つながることが

できるように「あいさつ運動」を計画しました。栽培委員会は、野菜を育てて1・2年生に収穫体験をしようという計画を立てました。さらにそれを給食に出してもらおうと考えています。環境・美化委員会は、掃除の仕方を1年生に伝えるためにはどうしたらよいか知恵を絞りました。体育委員会は、1年生から6年生までがもっと交流できるように「体育イベント」を企画しています。

うしたらできるか。」を、自ら考え実現しようとしています。コロナ禍の中、子どもたち



運営委員会の話し合い

ちは大きく、たくましく成長しています。



「軌・希・輝」のメッセージの下で、2年ぶりに行われた夏の大会の激励会

「緑っ子アート」で異学年交流



緑が浜小学校
校長
柴田 貴行

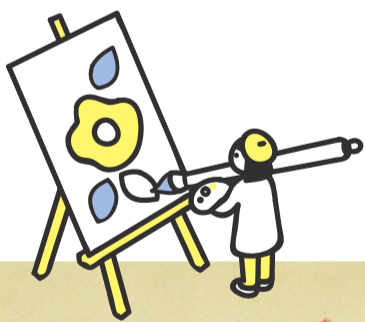


緑が浜小学校
教頭
村山 智宏

コロナ禍で教育活動にも様々な制限がかかっていますが、市の感染レベルが下がる時期には、市教育委員会のガイドラインで学校が取り組める活動が増えます。

6月、従来「緑っ子祭り」として行っていた縦割り異学年交流を、今年は「緑っ子アート」として実施しました。×

この異学年交流「緑っ子アート」の取り組みは、夏休み中に行われた「茅ヶ崎市いじめ防止サミット」で、「学校中のみんなが仲良くなれば、いじめはなくなる」というメッセージとともに、緑が浜小学校6年生から市内小中学校に発信されました。



緑っ子アート

浜須賀小学校区 青少年育成推進協議会



▲下校見守り活動の様子(令和3年9月実施)

昨年度まったく活動ができなかった状況を受け、今年度は感染予防を考慮しつつ、何が出来るかを模索しながら活動を開始しました。子どもたちの交流が目的であったイベントはすべて中止、下校見守り活動は毎月実施から年3回へ縮小して行っています。また、役員会は隔月オンラインで実施。最初は戸惑うメンバーもいましたが、数回で慣れ、現在は短時間でスムーズに会議を行うことができるようになっています。

浜須賀中学校学級代表者会



昨年に続き書面にて選出された保護者にて構成され、今年度はすでに3回の代表者会議が開催されました。学校と保護者との情報共有が行われ、相互の不安や疑問解消に大変大きな役割を担っています。学校行事や地域の行事が中止になり大きな活動はありませんが、花壇のボランティアや制服リサイクルバザーなどは感染状況を考慮し再開できるよう調整中です。

緑が浜小学校区 青少年育成推進協議会



▲朝の見守り

例年行ってきた大勢の児童を対象とした行事が出来なくなり、今は毎週月曜日にPGTが行っている朝の見守りに協力したり、学区地域のパトロールを行っています。役員会も開けないため、LINEを使用して情報の共有をしている現状です。

P… Parents
G… Grandparents
T… Teacher

浜須賀地区体育振興会

昨年、体育振興会が企画していた行事が全て中止になり、今年度こそはと思っていたのですが、3月の今期計画を立てる際にも状況が好転せず、泣く泣く7月までの予定も中止という計画と致しました。

ワクチン摂取が進み、新型コロナウイルスの感染状況が好転することを期待して、例年行われている10月の体育祭は予定通り計画を立てていましたが、8、9月の全国的な感染拡大で準備等を逆算して考えると開催は厳しいとの判断で、中止を決断しました。このため、今期当会の主だった行事は昨年同様全て中止となってしまいました。

浜須賀会館管理運営委員会

「令和元年輝く未来へ浜須賀」これは2年前の会館まつりのスローガンです。浜須賀会館まつりは、残念ながら昨年、今年と中止になりました。

講演会やその他の事業も自粛しており休眠状態ですが、エアロビ、ヨガ、麻雀、囲碁は継続して行っています。また小和田公民館の臨時休館に伴い新規団体の利用が増え、昨年の約1.4倍増となっており、特に図書室の利用が多くなっている状況です。

会館の利用においては玄関から大広間までも土足を可としました。これですべて土足での入館が出来ることとなりました。また玄関に手指消毒と体温測定が同時にできる機器を設置しましたのでこれからもコロナ対策を十分に注意してご利用願います。



①手をかざして消毒と同時に体温測定

②【体温正常】の音声がかえたら入館OK



防災部会

今年の防災訓練は中止となりましたが、災害はいつ起きるか分かりません。日頃から備えを大切に!

環境部会

環境指導員を中心に、地域の身近な問題であるゴミの出し方や環境美化などに取り組んでいます。

浜須賀地区社会福祉協議会

今年度も皆さんが楽しみに待っていた「ふれあい昼食会」「敬老のつどい」は、残念ながら開催出来ませんでした。

コロナ禍の中、7月に会報「住んでいてよかったまちはますか」特別第2号を発刊しました。記事内容は「浜須賀2つのみち」(鉄砲道)と「ラチエン通り」の名前の由来を紹介しました。

9月に「米寿を迎えられた方」にささやかな記念品を民生委員児童委員の方の力を借りてお配りしました。また、ボランティア活動の「サポートはますか」のサポート実績は月平均100時間を超えます。草刈り、剪定、掃除等スタッフ51名が希望者に応えています。来年こそは平常に戻ることを願い、皆さんとの集いを心待ちにしています。



剪定前



剪定後

地域包括支援センターあさひ



▲散歩やお買い物のひと休みに、ベンチをご自由にどうぞご利用ください!

地域の相談窓口として、コロナ禍においても営業しています。(日曜定休)「外出の機会が減り、身体を動かしたい。家にいる時間が長く、振り込め詐欺などの電話が多くて困っている。介護の手続きについて聞きたい。」などの相談に専門家が対応します。センターは、桜道の湘南信用金庫の斜向かいにございます。オレンジ色のベンチと看板が目印です。お気軽にお立ち寄りください。

浜須賀小学校PTA

本年度は、運動会の受付手伝い・花壇の整備などの他に、大型非接触型検温器3台、小型非接触体温計を各クラスに1つ用意し、直接のお手伝いが難しい中、機器などで学校支援させて頂いています。また、例年通り登下校の見守りに力を入れています。旗振り委員を続けてくださる保護者の方も多く、地域の方の協力と共に日々児童の安全を最優先に試行錯誤して活動しています。



▲PTA・学校・市・警察による通学路合同点検



みんびよん



NEW!
訪問見守り活動時などに着用予定のブルーベストです。よろしくお願いたします。

後

浜須賀地区 民生委員児童委員協議会

コロナ禍で様々な活動が制限される中でも、感染防止に気をつけながら、必要に応じて地区の皆さまへ、訪問見守り活動をさせていたいております。

浜須賀地区民児協では、登下校見守りや災害時用のオレンジ色パトロールベストに加え、このたびブルーベストを作製し、訪問見守り活動時などに着用を始めました。胸元に神奈川県民児協キャラクター「みんびよん」のイラスト・風の通る爽やかなブルーベストが目印の民生委員・児童委員です。

主任児童委員2名と19名の地区担当民生委員が揃い、欠員を解消しました。よろしくお願いいたします。



自治会紹介

三連合

浜須賀住宅・翠松会・松涛会自治会

浜須賀地区の東側に位置する3つの小規模な自治会です。例年は協力しながら行事を行ってききましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、それぞれの活動になりました。

- ・**浜須賀住宅**…会長、役員共に心機一転動いています。
- ・**翠松会**…防災倉庫の点検、清掃をしました。
- ・**松涛会**…各家庭に手指の消毒液を配布しました。

▶配布の消毒液



松が丘ハイツ自治会

私たちの自治会は、ハイツが完成した42年前に発足しました。同好会・ラジオ体操・防災訓練や春祭りなどを、隣接するパンダ公園で行い、様々な世代同士の交流を図っています。また、東日本大震災を機に発足した自主防災会では、緊急時のために「防災井戸」を今年7月に完成させました。コロナ禍ではありますが、これからも会員同士のつながりを大切に活動してまいります。



▲防災井戸を作りました

ごみ有料化が始まります!

令和4年4月1日よりごみ有料化が始まります。11月2日浜須賀地区環境指導員全員を対象に市環境事業センター・資源循環課の方より説明がありました。

有料化対象は「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」です。資源物は対象外で、従来通りの排出方法(無料)です。一人ひとりが**ごみ有料化**になることでごみの減量や分別がさらに進むことが期待されています。

コロナ禍で説明会開催・情報提供など不十分での開始となりますが、9月に配布された「ごみ通信」がさき特集号」に詳しく説明されていますので、ご確認ください。

なお、指定袋を使用しないで出されたごみは「啓発シール」が貼られ、収集されません。今後も、清潔で住みよい地域づくりを目指し、活動して行きます。引き続き皆様のご理解・



▲家庭用の指定袋は「黄色」です!

ご協力をよろしくお願いたします。(環境部会より)

すこやか赤ちゃんサポート

2015年に立ち上がった「すこやか赤ちゃんサポート」の第1期生の赤ちゃんが、今年4月、なんと浜須賀小学校に入学して1年生になっていました。お母さん方から声を掛けられ、感激以外の何物でもありませんでした。赤ちゃんとお母さんのサポートをはじめたからこそ味わった喜びと感動でした。

「すこやか赤ちゃんサポート」は、「お母さん方には安心と安らぎ、日々の疲労解消のお手伝いが必要」との思いで、浜須賀地区まちのちから協議会が立ち上げた事業です。疲れたお母さん集まれ! お友達との欲しいお母さん集まれ! おばさんに甘えたいお母さん集まれ! 孤独なお母さん集まれ! 相談相手の欲しいお母さん集まれ! です。

さて今年度は、コロナ禍ではありましたが、4月より「すこやか赤ちゃんサポート」を開催しました。感染予防を徹底し、多くの赤ちゃん、お母さんと楽しい時間を過ごしています。スタッフに抱かれるとお母さんを求めて泣く赤ちゃんがいる一方、すんなり抱かれてスヤスヤ眠ってくれるお母さんもいます。色々な個性を持った赤ちゃん達に接して幸せを感じています。

毎回、季節に合った小さな作品作りをしています。作業時間は20、30分ですが、皆さん熱心に取り組まれ、世界一の素晴らしい逸品に仕上げられています。若いお母さん方は工夫がとてもお上手です。

また、皆さんが集まった時間を見計らい、開き読み絵本、赤ちゃん手遊び、新聞のちよつと良い記事や時々の情報などをお話ししたりして10、15分を過ごしています。そしてお母さん同士の仲良しタイムにしています。

保健師さんの協力も得て、体重・身長の計測や、個別相談にも対応していただいております。楽しいですよ。気楽にお出かけください。



毎月第3木曜日
9時30分から
問い合わせ
浜須賀会館
☎(87)1101

まちのちからを支えるのはあなた

平成25年3月9日に浜須賀地区設立総会が開かれ、「地域住民、各種団体及び市」が一体となり住みよい地域社会を目指しています。官だけでは出来ないこと、民間が出来ることは民間の力を生かそうという仕組みです。さあ、官民一体の知恵比べだ。こんな状況で何からやれるのか!? 今は、コロナ禍で「自粛」だが、やることを動かそう。台風、大雨などが茅ヶ崎海岸に大量の枯木・木くずなどを打ち上げた。何年も養浜作業、美化活動が繰り返される。地域を守る活動こそ地域住民だから出来るのでは…。

一方、買い物・通院・在宅生活に不自由な方へは、隣り近所が手助けする。そんな「浜須賀地区」を目指し、あなたの力を貸していただけませんか!(会長・朝倉)



コロナ沈静化の舞!!(合成:ダイヤモンド富士)

編集委員▼朝倉・日向・久木田・角田・大門・名嘉・安藤・梅木・菊地・清水